

救命救急科受診の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、患者さんからインフォームド・コンセントを受けることを必ずしも要しないと判断されますが、研究内容の情報を公開することが必要とされております。登録対象者に該当するが登録を希望されない場合、もしくは、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 米国 Surviving Sepsis Campaign データベースへの参加と日本独自の Sepsis 疫学データ収集 (JAAM-SR-Basic)

[研究機関] 北海道医療センター 救急救命科

[研究責任者] 救急救命部長 七戸康夫

[研究の目的と意義]

様々な感染症に伴う炎症反応が全身に拡大し重症化した状態を「敗血症」と呼び、現在でも高い死亡率が問題となっています。そこで、欧米の急性期医療を専門とする国際学会が合同で敗血症診療に関する疫学的調査を 2002 年より開始しています。日本救急医学会はこの調査に参加し、我が国の敗血症診療水準を検証するとともに、詳細な診療情報を収集・解析して敗血症診療の質の向上に役立てることを計画しています。当院もこの調査に参加しています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 22 年 8 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日の間に治療を受けた敗血症の患者さん

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身長、体重、診断日、基礎疾患、使用薬剤、各種検査結果（血圧、体温、尿量、血液検査、画像検査、心電図検査）、治療内容など。

[個人情報の取り扱い]

全ての医療情報は、個人を特定できないよう匿名化して日本救急医学会が大学病院医療情報ネットワーク (UMIN) に委託して作成したデータ入力システムへ登録します。データを公表する場合でも、個人情報は一切公表しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市西区山の手 5 条 7 丁目 1 - 1

北海道医療センター 担当医師 救急救命部長 七戸康夫

電話 011-611-8111 FAX 011-611-5820